

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PCテクニック		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	PCテクニック	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	非該当
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
PC各種アプリケーションの活用方法や社会人としての人間カスキルをオンデマンド授業を通して学ぶ						
到達目標						
授業内でのPC作業や卒業後も応用できるPCテクニック、社会人としての人間力を身につける						
授業計画・内容						
【前期】 1～7回目	コンピュータ内部の理解／時間の使い方／タスク管理方法について／相手の心を掴むプレゼンテーション術／伝わるプレゼンの作り方／Google スライドだからできるワンランク上のプレゼン／Canva AIで手軽に資料作成					
【前期】 8～11回目	プロジェクトマネジャーの基本／Googleスプレッドシートで進捗管理する方法／Googleスプレッドシートでプロジェクト管理／Googleスプレッドシート基礎トレ全自動カレンダー 編-					
【前期】 12～15回目	能動的に人生と仕事を動かす「タスク管理」／うまく回る「情報共有の仕組み」づくり 新入社員向けExcel術一表の見せ方＆計算チェックー最速のExcel術					
【後期】 16～24回目	“伝わる文章”の基本／簡潔なメール文への添削／ビジネスメールの書き方／「わかってるな」と思われる報連のしかた／Word による文書作成の基礎・知っておくべき段落書式・スタイル機能の基礎					
【後期】 25～31回目	議事録係の準備について／議事メモを制する者は会議を制す／議事メモから“シゴデキ議事録”へ／自分もチームも変える3つの視点／情報の収集・集計・分析をGoogle フォーム × Google スプレッドシートで自動化／瞬時に共有できるGoogle Keepでビジネスを加速しよう／Google サイで情報をひとまとめにして共有					
【後期】 32～38回目	「可愛がられる」は才能ではなくスキルである／大きな桁の掛け算・割り算のコツ／秒で完成ーパワポスライド作成ーなぜ、私たちはPowerPoint資料を作るのか／名刺で学ぶCanvaとデザインの基本／Canvaプレゼンテーション活用術／アイデアを形にする企画整理					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	分野別講座Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	分野別講座Ⅱ		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	72回(144単位時間)	年間単位数	9単位
科目設置コース	ローディーコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	著名な多くのアーティストをリハーサル～本番まで、またレコーディングに至るまでケアし、アーティストの信頼を築く事をモットーとした楽器テクニシャン					
授業概要						
キーボード、ドラム、PAシステム、MIDIの基礎、デジタルオーディオについて、ラックの組み方等、現場におけるバンドスタッフ・ローディーの周りの業務について学ぶ。						
到達目標						
バンドスタッフ・ローディー周りの業務の理解、総合力、応用力の向上						
授業計画・内容						
【前期】 1～7回目	ミキサーを使ったキーボードセッティング ミキサーの適正インプットレベルを知る 音色データのセーブとロード、プログラムの最小単位と音色の管理					
【前期】 8～16回目	基本的なドラム演奏を身につける。様々なドラム用アクセサリについて ドラムのモニターシステムの特徴、ドラムのマイキングによる録れ音の変化を知る。					
【前期】 17～21回目	ミキサーの機能を知る。 プログラムチェンジ、コントロールチェンジ。MIDIの応用					
【前期】 22～29回目	マッピングで任意の設定 MIDIの規格、DIN規格のピン数や繋がっている配線					
【前期】 30～36回目	CC等のメッセージ信号 MTRとDAWを体験する。バンドを組んで多重録音。					
【後期】 37～46回目	デジタル録音の仕組み 様々な工具(特殊工具含む)正しい使い方					
【後期】 47～54回目	楽器の省略記号、基本用語、図面を書く 大型ラックの組み方や配線方法					
【後期】 55～62回目	ノイズを極力抑えたシステム構築 一日の流れ、ツアーとフェス、現地楽器の違い					
【後期】 63～72回目	機材の清掃 ホコリの除去や、残っているテープ痕の取り方等					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	楽器概論Ⅱ		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	楽器概論Ⅱ		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	72回(144単位時間)	年間単位数	9単位
科目設置コース	ローディーコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	著名な多くのアーティストをリハーサル～本番まで、またレコーディングに至るまでケアし、アーティストの信頼を築く事をモットーとした楽器テクニシャン					
授業概要						
ドラムのセッティング、メンテナンス、真空管、ヒューズ、LOOP、プリアンプ等の楽器および音が出るまでの機材について学ぶ。						
到達目標						
セッティング精度やメンテナンス技術の向上、現場での連携の合理化、それらを合わせたローディー技術の向上。						
授業計画・内容						
【前期】 1～7回目	各種ドラムヘッドの特徴を知り各メーカーのパーツの違い ドラムのチューニング、分解清掃、ドラム用アクセサリ、ドラムのモニターシステムの特徴、ドラムのマイキングによる録れ音の変化					
【前期】 8～16回目	真空管の基礎、パワー管、プリアンプ、整流管の代表的なチューブ、6550=KT88 ヒューズの交換方法、スローブローとファストブローの違い、形状、アンペア数の確認					
【前期】 17～21回目	LOOPの原理を知り原音信号の走り方、LOOPを通る信号の経路、LOOPを使ったアンプチャンネルの切り替え 複数のエフェクトを使用したシステム作成、シリーズ接続					
【前期】 22～29回目	パワーアンプ部へ信号を伝える為の増幅器機と強調 AGのプリアンプ、アクティブベースのEQ部分、ブースト機能搭載機					
【前期】 30～36回目	インピーダンスの計算方法、Ω数表記と実機、正相と逆相					
【後期】 37～46回目	アンプ、エフェクターではない、他ジャンルのメーカーの正式名称 エフェクターボードを作成し音出し					
【後期】 47～54回目	コンパクトエフェクトを使用した歪みを作り 空間系エフェクトをセンドリターンへ接続しコントロール					
【後期】 55～62回目	レベルの取り方やケーブルの接続(MIDIとアンプコントロール) LOOPコントローラーよりアンプへ出ているシールドや、MIDIケーブルをまとめる作業					
【後期】 63～72回目	ジャンクションボックス(DI)等、シールドの出て来る位置を想定し転換時にも役立つケーブル処理とバミリ方					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PC実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	PC実習Ⅱ		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ローディーコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	テックローディー会社を経て現在全国アリーナツアー・アーティストの専属ドラムテック鍵盤・竿物もこなすマルチテック。 技術向上に常に向き合っている。					
授業概要						
PCを使用しての現場に必要なプロット・セット図等の資料作成方法を学ぶ。						
到達目標						
現場に必要なあらゆる情報、知識の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～10回目	ステージプロットの作成					
【前期】 11～21回目	セットリスト作成					
【前期】 21～31回目	タイムテーブル作成					
【前期】 32～42回目	ギターアンプ周りのセッティング図作成					
【後期】 43～50回目	ベースアンプ周りのセッティング図作成					
【後期】 51～60回目	キーボードのセッティング図作成					
【後期】 61～70回目	ドラムのセッティング図作成					
【後期】 71～78回目	アーティスト引き継ぎ資料の作成、DAW関連					
【後期】 79～82回目	アンサーシートの書き方 請求書の作成					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージベーシック実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ステージベーシック実習Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ローディーコース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	テックローディー会社を経て現在全国アリーナツアー・アーティストの専属ドラムテック 鍵盤・竿物もこなすマルチテック 技術向上に常に向き合っている。					
授業概要						
重量物の取り扱い方、エフェクト周りの結線、複雑な仕組みのシステム構築、実際のセッティング、A/B BOX等の製作等について学ぶ。						
到達目標						
舞台に関する実践的な知識、技術の習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～10回目	重量物の取り扱い方 アンプの歴史 アンプの基本操作 ・IN OUTの基本的説明とEQ部分について ・アンプの歴史と基本操作					
【前期】 11～21回目	アンプの歴史 アンプの基本操作 ・スタックアンプ(SPケーブル接続)コンボアンプ、エフェクターボード配線 エフェクターの基本					
【前期】 21～31回目	インピーダンスについて ・ハイインピーダンスとローインピーダンスの違い ・スピーカーユニットのインピーダンスの測定方法					
【前期】 32～42回目	実際のセッティング～音出し～転換実習 ・立ち位置に対するアンプ位置 ・2バンド分の機材を転換					
【後期】 43～50回目	実際のセッティング～音出し～転換実習 ・企画ライブシミュレーション ・トラブルシューティング					
【後期】 51～60回目	実際のセッティング～音出し～転換実習 ・転換実習 ・ギターチェンジ ・ケーブル介錯 ・ハイエース積み込み					
【後期】 61～70回目	半田付け作業 ・A/B Boxの作成～パーツ、仕組み ・ソルダーレス・シールドの作成、ギターサーキットの内部構造					
【後期】 71～78回目	半田付け作業 ・オーバードライブの作成 エフェクターの電源種類					
【後期】 79～82回目	エフェクターボード作成 ・ボードの利便性、エフェクターの省略表記 ・固定方法、ケーブル処理、踏み易さや収納考察					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ローディー実習Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	ローディー実習Ⅱ		年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	ローディーコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	レコーディングメインのフリーのギターテックに師事。ギター、ベースを中心に、楽器の調整から音作りまで、現場に必要な知識を学ぶ。ロックバンド、ソロアーティスト、俳優、声優、アイドル、など、ジャンルや国内外を問わず幅広く活動中。					
授業概要						
弦交換、実践的な調整技術、回路の知識、メンテナンス技術、楽器の構造、結線の仕組みシステムの構築などの習得。						
到達目標						
様々なプロとしての技術を身につけ即戦力になる人材育成。						
授業計画・内容						
【前期】 1～10回目	ギター・ベースの調整 弦交換とチューニング ピックアップと回路について					
【前期】 11～21回目	MIDIについて 真空管について エフェクト接続順番応用編					
【前期】 21～31回目	ヒューズの種類 LOOPについて					
【前期】 32～42回目	プリアンプについて スピーカーインピーダンスの復習					
【後期】 43～50回目	メーカー名、会社名を正確に覚える 各自エフェクトボード作成 センドリターンを含んだシステム構築					
【後期】 51～60回目	システムマルチケーブル作成 ワイヤレスシステム					
【後期】 61～70回目	マルチエフェクター アコースティックギター					
【後期】 71～78回目	PresenceとResonance ラックエフェクター					
【後期】 79～82回目	MIDIコントローラー LIVE現場の資料作成 スイッチング実践					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						